



学校通信

我が輩はトラフズク

令和7年5月28日 No.2

弘前市立第三中学校 (担当: 教頭 前田 達哉)

創造・感動・笑顔

「スポーツフェスティバル」にみた清々しさ

校長 小笠原 恭史

閉会式に話し忘れたことがあります。あの日は、「そこに一生懸命な人がいて、その人を応援するたくさんの人がいて。また、それらをたくさん笑顔が見守って。なんと清々しい光景でしょう。昨今、一生懸命なことのカッコよさが廃（すた）れ、かえって中傷や悪口の対象にさえなる現代社会において、ここにある光景は清々しく、感動しました。どうか今後の学校生活においても、一生懸命がカッコよく、それらを応援する関係を大切にしてほしいです。また、この清々しさを三中生一人一人から社会に向けて発信してほしいです。」と話しました。

もう一つ話しておかなければならなかったことがありました。それは生徒のみなさんから発せられていた「声」についてです。

その大きさは叫びも含めて相当なものでしたが、まったくうるさいとは感じませんでした。理由は屋外であったということではありません。それらが声援であったからです。人を威嚇したり怖がらせたりする奇声は耳障りで、たとえ屋外でも、また、大声でなくてもなくてもうるさいものです。

とかく学校は、“落ち着いた学校”を“うるさくない学校”として、声に託された思いは問わず大声を抑え、静かさを求めます。それで漂う静かさは、怯えや無関心からものであり、その冷ややかな静かさをもって落ち着いた学校とは言えません。

みなさんの声がうるさくなかった大事な理由がもう一つあります。それは、連絡や挨拶など聴かなければならないときに、ずっと静寂をつくることができたことです。進行する司会からの「静かにしてください」という言葉が、ほばなかったことがそれを証明します。

大きな声が声援ならば、それは応援の気持ちの大きさとして伝わります。また、聴かなければならないときに誰ともなくつくる静寂は、みんながみんなのことを思いやる気持ちの表れとして安心を感じさせるものです。

ここに楽しく温かな学校の秘訣があります。互いの一生懸命に応援の気持ちが行き交い、賑やかな中にも一瞬の静寂をつくることができる、ここに“落ち着いた学校”も見いだします。

あの時間をつくることができた生徒の皆さんが、これからの日常で、どのような清々しさをつくっていくのかが楽しみです。

学校運営協議会

4月24日(木)、第1回目の「学校運営協議会」が行われました。会議では、学校運営協議会委員・地域コーディネーターの任命の後、役員が選出されました。その後、校長から学校経営方針に基づく「指導の重点」について説明し、承認されました。また、今年度のPTA活動や部活動などについて、委員と意見交換しました。



*今年度の委員をご紹介します。

〈学校運営協議会委員〉

会長：小岩 一哉 氏	副会長：溝江 葉子 氏(兼：地域コーディネーター)
委員：山崎 均 氏	山内 和人 氏 山本 昇 氏
東海 孝尚 氏	山谷和歌子 氏(兼：地域コーディネーター)

〈地域コーディネーター〉：藤田 あつ志 氏

弘前市では小中一貫教育を推進するために、学校運営に保護者や地域の声を反映させる「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」を導入し、学校と地域を結ぶパイプ役となる「地域コーディネーター」を配置しています。本校では、コミュニティ・スクールとして地域との協働体制(学校運営協議会の話し合い等)を基に、多様な個性・特性や価値観が共生できる学校づくりに取り組んでいます。

交通安全教室・情報モラル教室

4月15日(火)、弘前モータースクールから講師をお招きして「交通安全教室」を開催しました。生徒からは「気をつけて行動しないと被害者になるだけではなく加害者になる場合もあると気付いた」、「安全に過ごすコツは時間に余裕をもって行動すること」などの感想がありました。交通ルールやマナーなどの大切さを学ぶ機会となりました。

5月1日(木)には、KDDIから講師をお招きして「情報モラル教室」を開催しました。生徒からは「迷惑がかからないように気をつけて発信する」、「事件に巻き込まれないように正しい判断ができなければいけない」などの感想がありました。インターネットトラブルの危険さを学びながら、正しいインターネットの使い方について深く考える機会となりました。



学校からの配布物をLEVERで通知します

学校に寄せられるご家庭からの声に、“学校通信や参観日の案内など、学校からの配布物が保護者の手元に届かない”というものがあります。そこでLEVER等を活用して、ご希望の家庭に「本日の配布物」として通知することを考えています。

つきましては、6月16日(月)に、その希望を文書(フォーム)でとります。通知を希望するご家庭は、「希望する」にチェックをして回答ください。よろしくお願いします。通知は、6月23日(月)以降を予定しています。

○思いやりの心をもち、共に生きる ○すすんで学び、あきらめない ○心と体をきたえ、笑顔を広げる

第76期前期生徒総会

5月9日(木)、「第76期前期生徒総会」が行われました。
最初に校長から、今、世界で起きている戦争の話に触れ、「子どもたちが、きちんと話し合えるようになっていくことが平和な未来につながっていく」という話がありました。

各委員長から昨年度後期の活動報告と今年度前期の活動計画案について説明をしました。質疑応答では、資料をよく読み込んだ質問と、それに対する学校生活の向上に向けた答弁があり、原案は可決されました。

委員会活動に責任をもって取り組んでいる仲間の姿に感謝の言葉を述べる場面もあり、生徒が主体となった生徒会活動をみることができました。



東京を満喫した修学旅行

5月13日(火)～15日(木)、3年生が2泊3日の日程で修学旅行に行ってきました。天候にも恵まれ、東京都内「自主見学」など、計画どおりの行程を無事に終えることができました。

今年度は、キャリア教育の一環として3日目の朝に、日本大学理工学部海洋建築工学科准教授：佐藤信治先生を東京タワー（会場）にお招きして、「将来の夢の実現に向け、どんな心構えて臨んだらいいのか」、「東京から見る“ふるさと・弘前”よさ」など、熱い思いを母校の後輩に向けて話していただきました。

修学旅行を通じて学んだことは多く、とても有意義な3日間になりました。帰校した生徒たちの表情からは、満足感と成長の跡が感じられました。

*1日目 5月13日(火)
学校→青森空港→羽田空港→東京都内自主見学(班別行動)
→劇団四季ミュージカル→ホテル

*2日目 5月14日(水)
ホテル→ディズニーリゾート→ホテル

宿泊:東京ベイ舞浜ホテル

*3日目 5月15日(木)
ホテル→東京タワー(三中卒業生による講話)→月島もんじゃストリート
→羽田空港→青森空港→(各地区経由のバス)→学校



三中学区の子ども像(15歳の姿) 地域を思い、未来に向かって主体的に学び、心身ともにたくましい子ども

スポーツフェスティバル

5月23日(金)、「スポーツフェスティバル」を開催しました。

プログラムは、学年競技(1学年「借り人競争」、2学年「綱引き」、3学年「借り物リレー」)に始まり、「長縄跳び」、「全員リレー」、「選抜リレー」と続きました。

最初に行われた1年生が「3年生を借りる」「借り人競争」では、1年生に呼ばれた3年生と一緒に走りました。そのとき見せてくれた3年生と1年生の笑顔が、今年度のスポーツフェスティバルを象徴していました。それ以後の競技においても、勝利を目指しながらも、互いの得意・不得意を補い合いながら楽しく競技が行われました。

閉会式で校長から、「そこに一生懸命がいて。その人を応援する人、それらを見守るたくさんの笑顔があって、とても清々しいときでした。」と講評がありました。

当日は、たくさんの保護者の方に来校していただきました。子どもたちが学年で練習した成果や最後まで諦めない姿、一生懸命に仲間を応援する姿をご覧いただけたと思います。この素晴らしい光景を今後の日常生活にもつなげていきたいと思います。



6月の予定

2日(月)	短縮①～⑥ 部活動強調週間～6日 三中学区あいさつ運動 夏服衣替え完全実施 中南教育事務所長訪問	16日(月)	平常①～⑥
3日(火)	短縮①～⑥、眼科健診(全学年)	17日(火)	短縮①～④ ⑤中体連表彰・報告会 職員会議
4日(水)	短縮①～⑤	18日(水)	平常①～④、⑤授業公開 三中学区小・中連絡協議会①
5日(木)	短縮①～⑥	19日(木)	平常①～⑥
6日(金)	短縮①～④、⑤中体連激励会	20日(金)	平常①～⑤:6月テスト
7日(土)	地区中体連夏季大会1日目	23日(月)	短縮①～⑥、生徒会委員会
8日(日)	地区中体連夏季大会2日目	24日(火)	平常①～⑥、2年思春期教室 第2回PTA企画運営委員会
9日(月)	短縮①～④ ※給食なし 地区中体連夏季大会3日目	25日(水)	平常①～⑤
10日(火)	振替休日	26日(木)	ふるさと学習 1年:岩木山神社、弥生方面 2年:ねぶた絵、長平方面 3年:保育体験
11日(水)	振替休日	27日(金)	短縮①～⑤
12日(木)	平常①～⑥	30日(月)	平常①～⑥
13日(金)	平常①～⑤		
15日(日)	テスト前部活動休止～19日		

*変更になる場合もあります。

○思いやりの心を持ち、共に生きる ○すすんで学び、あきらめない ○心と体をきたえ、笑顔を広げる